

## ○医療事故の影響レベル

インシデント・アクシデントの定義は「国立大学附属病院医療安全管理協議会」が定めた「影響度分類」に準ずる。

		傷害の 継続性	傷害の 程度	
インシ デ ン ト	レベル0	—		エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者さんには実施されなかった
	レベル1	なし		患者さんへの実害はなかった（何らかの影響を与えた可能性は否定できない）
	レベル2	一過性	軽度	処置や治療は行わなかった（患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた）
	レベル3a	一過性	中等度	簡単な処置や治療を要した（消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など）
ア ク シ デ ン ト	レベル3b	一過性	高度	濃厚な処置や治療を要した（バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者さんの入院、骨折など）
	レベル4a	永続的	軽度～ 中等度	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない
	レベル4b	永続的	中等度 ～高度	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題は伴う
	レベル5	死亡		死亡（原疾患の自然経過によるものを除く）
	その他			医療に関する患者さんからの苦情、施設上の問題、医療機器等の不具合・破損（重大な結果をもたらす恐れのある場合）、麻薬・劇薬・毒薬等の紛失